

第 39 回(2016 年度)地域安全学会研究発表会(秋季)に参加しました(2016/11/4-5)

テーマ：災害科学

場所：静岡県地震防災センター（静岡県静岡市）

11月4日(金)～5日(土)の2日間、静岡県地震防災センター（静岡県静岡市）で地域安全学会の秋季研究発表会が開催されました。地域安全学会は、研究者、技術者、国や地方自治体の実務家などによる、自然災害や人為災害を対象として地域の安全問題に関する研究を行う学会です。当研究所からは、3編の査読論文（うち、筆頭著者1名）と、3編の一般論文（うち、筆頭著者2名）の研究発表を行いました。査読論文の口頭発表では、佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）が登壇し、一般論文のポスター発表では、丸谷浩明教授及び共著者の寅屋敷哲也助教（いずれも人間・社会対応研究部門）と佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）の3名が説明を行いました。発表を行った著者及び論文名は次の通りです。

【査読論文】

佐藤健、桜井愛子ら：コミュニティレベルの防災活動の日米比較

—米国緊急事態対応チーム CERT と仙台市地域防災リーダーSBL を事例に—

昌本拓也、越村俊一ら：数値解析による自己浮上式津波避難施設に作用する二次元流体力の推定

支倉一磨、越村俊一ら：L-band 合成開口レーダによる津波被災地の建物被害解析区域決定手法の検討

【一般論文】

丸谷浩明、寅屋敷哲也：大学の業務継続計画の対象ハザードの拡大方策の考察

—東北大学を例として—

佐藤翔輔、杉安和也、寅屋敷哲也ら：「地域安全学 夏の学校 2016-基礎から学ぶ防災・減災-」：地域安全学領域における若手人材育成 その1

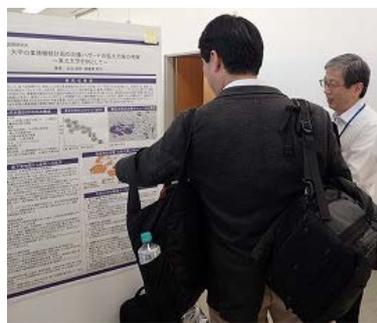
※優秀発表賞 受賞

平川雄太、佐藤翔輔、川島秀一、今村文彦：津波碑前で行われる慰霊祭の実態調査とその効果に関する基礎研究

著者名は、筆頭著者と研究所構成員のみ記載、下線は研究所構成員。



口頭発表（佐藤健教授）



ポスター発表（丸谷教授）



ポスター発表（佐藤翔輔助教）

文責：寅屋敷哲也（人間・社会対応研究部門）